

近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所 資料配布	配布日時	平成29年10月27日(金) 14時00分
---------------------------------	------	--------------------------

件名	大滝ダム管理開始以来第2位の流入量を記録 防災操作を実施し、ダム下流の洪水被害を軽減
----	---

概要	<p>台風21号による洪水に対し、大滝ダムおよび猿谷ダムは防災操作を実施しました。</p> <p>●大滝ダムによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダムで約1,500万m<sup>3</sup>の洪水を貯留しました。</li> <li>・ダムから下流に流す量を最大毎秒約800m<sup>3</sup>低減しました。</li> <li>・下流の五條地点では、紀の川の水位を最大約0.9m低下させる効果があったと推定されます。</li> <li>・下流の三谷地点では、紀の川の水位を最大約0.5m低下させる効果があったと推定されます。</li> </ul> <p>●猿谷ダムによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダムで約440万m<sup>3</sup>の洪水を貯留しました。</li> <li>・ダムから下流に流す量を最大毎秒約50m<sup>3</sup>低減しました。</li> <li>・下流の辻堂地点では、熊野川(十津川)の水位を最大約0.05m低下させる効果があったと推定されます。</li> </ul> <p>※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。</p>
----	--

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	奈良県政・経済記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ	和歌山県政放送記者クラブ 五條市政記者クラブ
------	---	---------------------------

問合せ先	国土交通省近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所 防災情報課長 市田 文生 電話 : 0747-25-3013
------	---

# ダム整備が効果を発揮(奈良県 大滝ダム)

おお たき

平成29年10月 台風21号

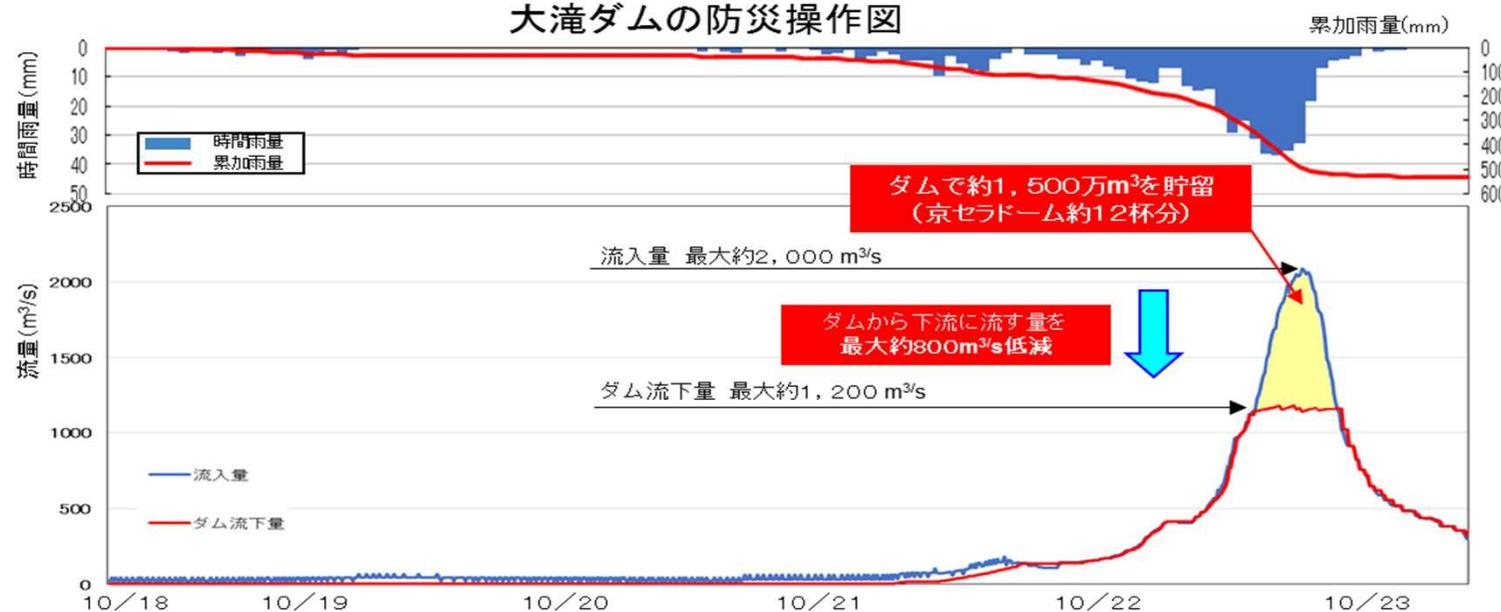
○紀の川水系大滝ダム上流域において、10月18日から23日にかけて、流域平均の総雨量が531.5mm、時間最大雨量が52mm (大台ヶ原雨量観測所)となり、ダムへの流入量が約2,000m<sup>3</sup>/s(大滝ダム管理開始以降第2位)に達しました。

○大滝ダムでは、約1,500万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、大滝ダムの防災操作により、ダム下流の紀の川の水位を五條地点(五條市新町付近)で約0.9m、三谷地点(かつらぎ町三谷付近)では約0.5m低下させる効果があったと推定されます。

## 位置図



## 大滝ダムの防災操作図



## 三谷地点 航空写真

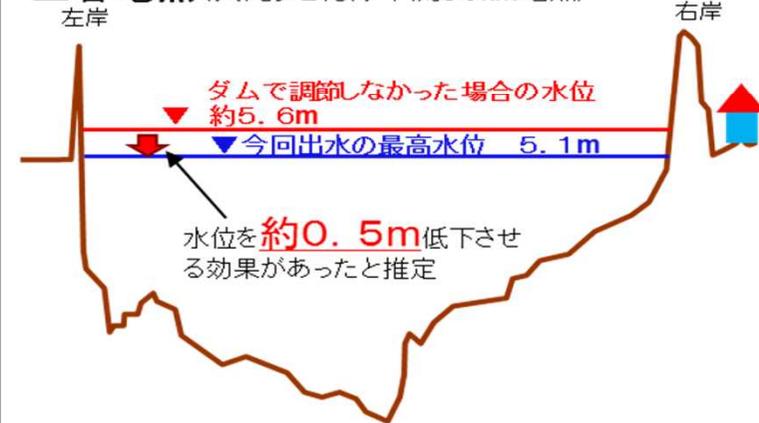


三谷水位観測所 断面位置

## 五條地点 (大滝ダムより下流40km地点)



## 三谷地点 (大滝ダムより下流60km地点)



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

# 猿谷ダムのゲート操作

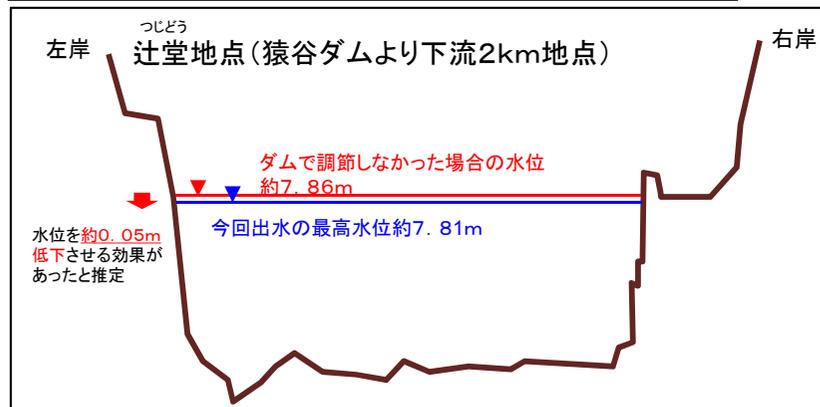
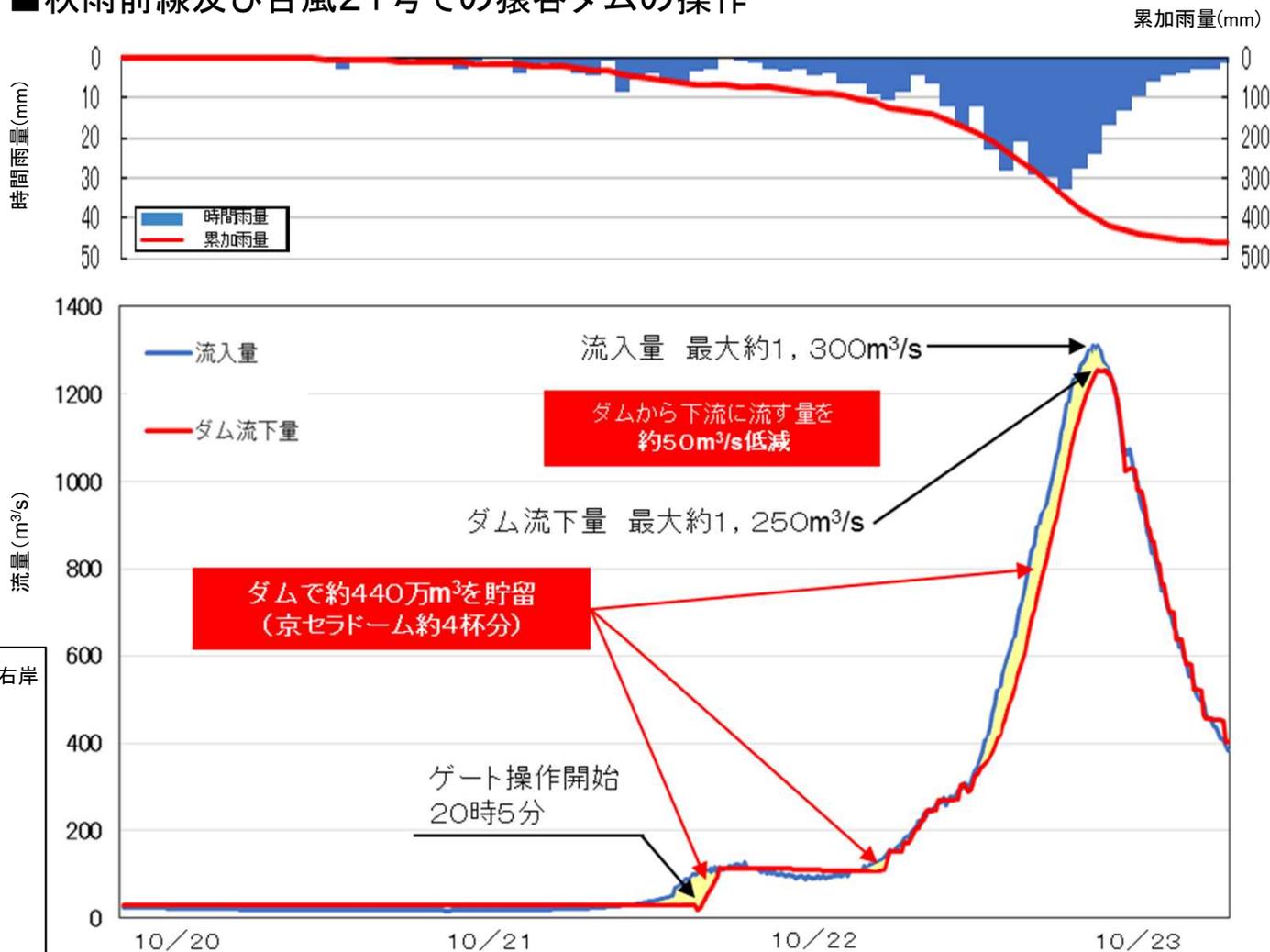
平成29年10月 台風21号

○新宮川水系猿谷ダム上流域において、10月20日から23日まで、流域平均の総雨量が461.3mm、時間最大雨量が38mm（九尾雨量観測所）となり、ダムへの流入量が約1,300m<sup>3</sup>/sを記録しました。

○利水ダムである猿谷ダムで、約440万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流の辻堂地点（五條市大塔町辻堂付近）では熊野川（十津川）の水位を約0.05m低下させる効果があったと推定されます。



## ■秋雨前線及び台風21号での猿谷ダムの操作



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。